

式辞

あま市立秋竹小学校の第36回卒業式にあたり本日卒業されます38名の皆さんに心よりお祝いの言葉を申し上げます。

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。先ほどは、卒業証書を一人一人が立派な態度で、しっかりと受け取ることができました。

さて、とりわけ寒かった冬を乗り越え校庭の桜も芽を出し、いよいよ秋竹小学校にも希望いっぱい光りいっぱいの春がやってきました。

この素晴らしい日に、あま市議会議員櫻井信夫様を始め、多数のご来賓の皆様、保護者の皆様のご臨席を賜り、このように盛大に卒業式を開催することができましたことを高い席からではございますが謹んでお礼申し上げます。ありがとうございました。

卒業生の皆さん、いよいよ卒業の日を迎えました。私の、皆さんとの出会いは一昨年でした。5月の野外活動でのハト峰登山はとても印象に残っています。とても険しい山道を全員で登りきりました。体力が十分にある元気の良い男子が、あまり体力に自信のない女子の荷物を持ってあげたり、「もう少し頑張れ」と声をかけたり、頂上で食べたおにぎりのおいしかったこと！忘れられません。秋の作品展も忘れられません。「シーワールド」と題し、みんなで水族館の背景を作り、海の生き物を制作し展示しました。とても創造性に溢れた作品がいっぱいありました。6年生になり、京都・奈良を訪ねた「修学旅行」。三十三間堂で見た千体の観音様に圧倒されましたね。また、御殿荘での夕食はみんなでいっぱい食べました。その時のはち切れんばかりの笑顔は忘れません。全校で出かけた「なかま遠足」モリコロパークで過ごした一日。リーダーのあなたたちが見事に下級生の面倒を見てくれました。

安心して見ていられました。「運動会」でのそれぞれの持ち場でのたくましいリーダーぶり、また紅組・白組応援団長の二人の迫力に秋竹小学校の児童全員が励まされました。「陸上やサッカーバスケの競技会」にむけての練習も、一生懸命でしたね。特に今年は、何年かぶりに賞状を貰いました。全員が部活動に参加し、毎日一生懸命走っている姿は忘れません。「学習発表会」でみせた団結力！会場の誰もが感動したあのミュージカルはそれこそ6年間の成長の証です。そして、「秋竹カーニバル・秋竹ウィンターフェスティバル」での大活躍もありました。新しいゲームを開発しました「バームクーヘン」や「コロコロバイキング」下級生でも楽しめるようにと工夫を重ねてくれました。

短い間にたくさんの思い出を共有することができました。そして、その時々々の凛々しい姿、全部忘れません。

もうひとつ言っておきたいことがあります。同級生のYさんの事です。毎朝、おじいさんと一緒に登校してきました。とても明るく元気な女の子なのですが、個性が強く、コミュニケーションがみんなと上手にとれないため、とても苦勞して勉強をしてきました。また、みなさんはYさんに何の偏見もなくごく自然に友人として接することができました。野外活動や修学旅行も集団の中で楽しくすごすことができました。6年間Yさんと一緒に給食をはじめ、交流学習で過ごした日々。Yちゃんよく頑張ったね。そしてみなさんありがとうございました。みなさんのおかげでずいぶん成長しました。小学校を卒業すると、別の学校へ進学するYさんですが、これからも地元で生活が続けます。これまで同様に接してくださいね。

さて、高学年のお兄さんお姉さんに手を引いてもらい、登校した日からもう6年の年月がたちました。皆さんは、これまで「なかまの活動」とともにこの学校で育っていきました。低学年の頃は、上級生から遊びやルールを親

切に教えてもらい、そして今では、下級生に優しく思いやりのある行動をとることができるようになりました。「なかまの活動」は、皆さんにとっても秋竹小学校にとっても大きな宝物です。これからも末永く受け継いでいくことをお約束します。

ここで、皆さんに二つのお願いをします。

一つ目は、感謝の言葉「ありがとう」をどんどんつかってほしいということです。「ありがとう」といわれて気分を害する人はいませんし、ふっと心があたたかくなります。ただし、伝えるときのタイミングが大事です。「感じたときに、すぐに伝える」ことです。重い荷物を運んでいる時に助けてくれる友だちに「ありがとう」、入学祝に自転車を買ってくれたおじいさんに「ありがとうございます」、レストランで料理が運ばれた時に「ありがとう」いろいろな場面で、さらりと「ありがとう」といえる人になることは美しい社会人になる第一歩ともいえます。繰り返します。感謝の言葉「ありがとう」をどんどんつかってください。

二つ目です。やる気と根気をもってほしいということです。「やる気」をもって、夢を抱いて進んでいく時、人は困難に出会い、失敗もして、悔しい思いを味わうことがあるかもしれません。しかしそれは失敗ではなく、成長のステップなのです。悔しい思いが強ければ強いほど、成長も大きいのです。そして、「根気」一日一日の、一時間。一分一秒の積み重ねがあつてこそ夢はかなえることができるのです。4月からは、中学校に進み、より専門的で幅広い学習や運動に取り組むことになります。小学校で学んだことを土台に、「やる気と根気」をもって、多くのことに取り組んでください。

最後になりましたが、保護者の皆様、お子様のご卒業を心からお祝い申し上げます。今後とも親子がしっかりコミュニケーションをとり、温かい家庭をはぐくんでいただきますようお願い申し上げます。また、この六年間にわ

たつて、本校の教育活動に対して、深いご理解とご協力をいただきましたことを心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

さあ、卒業生のみなさん、いよいよ旅立ちです。私たち秋竹小の教職員一同は、皆さんの今後の活躍と幸せを祈りながら、いつもどこかで見守っています。どうか、本校の卒業生であることに誇りを持って未来に向かって恐れず力強い一歩を大きく踏み出してください。がんばれ

以上で私の話を終わります。

平成二十六年三月二十日

秋竹小学校長 湯澤裕幸